

# Anchor's PERSON



株式会社 宮崎電気  
代表取締役

## 宮崎 隆成

中学2年生の時に、「最初に携わった職種で社長になる」と決めていたという宮崎社長。  
就職する時には「3年後に独立する」ことを宣言し、その言葉を現実のものにした。  
「現在は従業員も増え、プレッシャーも感じています。  
しかし、守るべきものがあるからこそ頑張れる」と社長は語る。  
大きな目標を掲げること。そして、人の人生をも背負うこと。  
それが自らを衝き動かし、どんなことも乗り越えていける力となっている。

**「従業員が増えてプレッシャーもありますが、  
守るべきものがあるから頑張れるんです」**

# 株式会社 宮崎電気

兵庫県姫路市勝原区丁 99-5  
URL : <http://miyazakidenki38.com>

## 「若さ」「早さ」「誠実さ」を強みに成長を続ける 大規模な建物を得意とする電気工事のエキスパート集団



新築やリフォームに関わる電気工事、電飾設置工事などを幅広く手掛ける電気のプロ『宮崎電気』。姫路市を含む兵庫県南西部が主要エリアだ。宮崎社長は高校卒業後、電気工事業界に飛び込み、3年余りの経験を経て2017年に独立を果たした。2021年5月には法人化を実現し、さらなる発展を目指して邁進している。本日はタレントのラッシャー板前氏が同社を訪問。社長にインタビューを行った。

—はじめに、宮崎社長の歩みからお伺いします。ご出身はどちらですか。

生まれは兵庫県相生市です。小学2年生の時に両親が離婚し、姫路に移りました。そこからは市内を転々としてきたんです。中学時代はテニス部でしたが、高校ではダンス部に入りました。ダンスをやりたいからではなく、可愛い子がいたからなのですが(笑)。けれども勉強に身が入らなかったの、顧問の先生から勉強に専念するようにとダンス部を辞めさせられたんですよ。

—それは残念でしたね(笑)。現在のお仕事を始められたきっかけとは何だったのでしょうか。

まだ在学中のころに知り合いから電気工事の会社で「人手を探しているから、夏休みにアルバイトをしないか」と声が掛かりましてね。それでアルバイトを始めて、夏休みが終わるころにはこの会社に就職しようと思ったんです。

—では、業界経験としてはかなり長いですね。その当時から、いずれは独立したいと思っていらしたのでしょうか。

はい。商売をしている身内が多いこと



もあり、中学2年生の時には「最初に就いた職種で社長になる」と決めていました。とはいえ、当時はまだ子どもですから、社長になったら格好良い、楽しそうというぐらいの軽い感覚でしたけれど。それでも高校を卒業してアルバイトをしていた電気工事会社に就職する時、3年後に退社して独立したいというお話もさせていただきました。今思えば何故そんなことを言ったのかと思いますが、それでも採用していただけてありがたかったですね。実際は独立までに3年10か月かかりましたが、まあ許容範囲かなと。

—ブレずに有言実行を買かれたのがすごいですね。それに、まだお若い。社長には素質がおりなんじゃないでしょうか。

23歳で独立して、今年で丸5年になります。独立してからも前職からお仕事をいただけることになっていたのですが、創業から2カ月経ったころに前職で一緒だった人間を迎えると決めました。当然、引き抜いたような形になってしまうので前職からの仕事はもうもらえない。それでも覚悟を決めて迎え入れることにしました。

### ラッシャー板前 (タレント)

「様々なエピソードを、笑いを交えながらお話を伺った宮崎社長。面接では残業がないと言ったのに、入社時がたまたま残業になってしまい、慌てて言い訳をされたというお話など面白かったですね。法人化から丸1年ということで、さらなるご発展が楽しみです。陰ながらですが、私も応援していますよ！」 ラッシャー板前・談

—では、ゼロから営業をしてお客様を獲得してこられたんですね。

そうです。仕事は探せば何とかありますが、人とのつながりは逃してしまうと代わりはありませんからね。その時に迎え入れた人間は地元の後輩でもあるのですが、今も頑張ってくれています。

—信頼を築くには時間もかかりますよね。現在は何名でお仕事をされているのでしょうか。

8名になりました。人が増えた分、責任やプレッシャーも大きくなりますが、守るべき人がいるからこそ頑張れる。自分だけなら仕事もさぼってしまいますが、皆がいるから真面目に取り組むことができています。

—同業者さんもたくさんいらっしゃると思いますが、その中で『宮崎電気』さんならではの強みとおっしゃいますか？

大きな物件を得意としていることですね。電気工事業界というのは、全体の9割ぐらいが一人親方や家族で営業しているところなんですね。当社も決して大きな規模ではありませんが、アパートやマンション、ハイツ、店舗、事務所などの電気工事を行っており、その中でもコンクリート造のマンションなど、大きな建物の電気工事をメインにしているんです。大きな物件に入る業者はあまり多くないので、そこが一番の強みだと考えています。

—従業員さんも良い人が揃っているようです。

ええ。高齢化が進んでいる業界でもありますが、当社の従業員は皆若いんです。電気工事は高所作業もあって危険を伴いますし、体力も必要です。その点、若いのでパワーがあって俊敏な動きができますし、しかも若さだけでなく技術も伴っていることが自慢ですね。

—心強いですね！ お若くても多くの現場を経験していらっしゃるということ

でしょうか。

ええ。それぞれ豊富な経験を持っていますし、女性の職人もいますよ。コツコツと技術を磨いてきた人なので、今は職長を任せています。

—それは、かなり強みになりますね！従業員さんとのコミュニケーションも大切にされていますか。

もちろんです。最近上司の誘いはパワハラだとか言われますが、私は単純に皆とお酒を飲むのが大好きなんです。今はコロナ禍もあって以前のようにはいきませんが、皆年齢も近いですし一緒に過ごすのは楽しいですね。仕事は上司と部下でも、仕事を離ればフラットな関係でいられたらと思っています。

—普段から良い関係を築かれているからこそ、会社も順調にやってこられているのでしょうか。社長がお仕事をされる上で大事にされていることは何ですか。

今いる従業員を守ることでいいですね。地域貢献とか格好良いことを言いたいところですが、まずは一緒に仕事をする仲間が幸せじゃないと、地域貢献などできませんからね。そのためには会社を成長させて、仕事を切らさないことが一番だと思っています。

—従業員の皆さんの存在が、社長の原動力ということですね。では、最後にこれからの展望をお聞かせください。

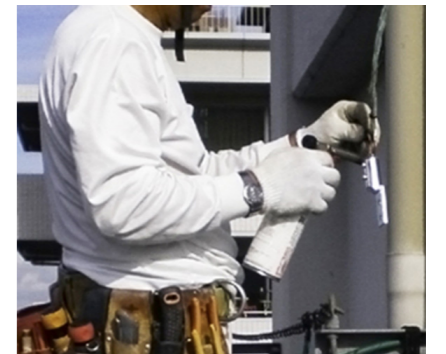
様々なお仕事をさせていただく中でイルミネーションを手掛ける機会もいただいているんですね。その中で培ったノウハウを活かし、スイッチ1つでお店が開いているとか分かるような、街を明るく照らすイルミネーションを手掛けていきたいと思っています。こんな時代ですから、電気地元の皆さんの気持ちも明るくできれば嬉しいですね。

—応援していますので、頑張ってください。本日はありがとうございました！

(2022年5月取材)



代表取締役  
宮崎 隆成



### 『宮崎電気』が選ばれる理由



▼姫路市に拠点を構え、近隣の相生市、赤穂市、たつの市などを主要エリアとする『宮崎電気』。新築やリフォームの電気工事をはじめ、エアコン・空調、アンテナ、照明・電気配線、オール電化の工事など、様々なニーズに対応している。具体的にはアパートやマンションから、ハイツ、老人ホーム、学校や幼稚園・保育園、事務所、街灯まで、個人・企業を問わず多くのお客様に恵まれて実績を重ねているという。

▼同社が強みとしているのは、「若さ」「早さ」「誠実さ」の3つ。ほとんど営業することなく、口コミや紹介で多くの工事を受注しているのも、この強みが評価されていることだ。「お客様からは多種多様なご要望をいただきます。すぐに実現できるものもあれば、難しいものもあるのが正直なところ。しかし、できない理由を考えるのではなく、どうすればできるかを考えながら提案を行っている」とのこと。そうした姿勢が、満足度をアップし、また次の仕事へとつながっているようだ。